

協定校留学近況報告書

記 入 日	2014年 1月 28日
留 学 先 大 学	オレゴン大学
留 学 先 での 所 属 学 部 等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):経済学部, (現地言語での名称): Arts & Sciences, Economics <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留 学 期 間	2013年9月-2014年6月
明 治 大 学 での 所 属	政治経済学部経済学科__専攻 / __研究科__専攻
学 年 (出 発 時 本 学 での 学 年)	学部3年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年生



I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

国際交流事務室にある体験記を読む。ACE の授業を担当していた先生の紹介で二年前にオレゴン大学に留学した人と直接会い、細かい疑問を尋ねる。web 上にあるオレゴン大学留学生、更にはアメリカの大学留学経験者の体験記などを読む。ビザなど公的な書類に関するものでは体験記の他にも大使館など、関係各所の web ページを熟読する。以上の方法で情報を集めた。しておいた良かったと感じたことは、携帯電話の購入や予防接種など、向こうに到着してからもできることであるが、日本に居る間にも済ませることのできるものを済ませておいたことである。準備不足だと感じたのは、アメリカの大学が採用している prerequisite の仕組みを理解していなかったことである。この為に履修申請時に非常に苦勞をすることになった。ただ、留学生は prerequisite を満たしていなくても交渉すれば授業を override することができる可能性もあるので、そこまで神経質になることはないかもしれない。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類: J-1	申請先: 駐日アメリカ合衆国大使館
ビザ取得所要日数: 約一週間(面接当日からパスポートが返送されるまで) (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: SEVIS 申請費なども含め 350ドル前後

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

DS-160 オンライン申請書(web 上で記入)、DS-160 確認ページ(自分で印刷)、パスポート(役所で申請)、所定の大きさの顔写真(規格が特殊だったので写真屋で撮影)、面接予約確認書(web 上で申請後、自分で印刷)、DS-2019(オレゴン大学より送付。到着後に自署が必要)、財政証明(十分な金額を自分名義の口座に入れた後、銀行の窓口で申請。米ドル表記)、I-901 SEVIS 費用確認書(SEVIS 費用振込後、出てくる画面を印刷。ただ後日郵送もされる)、高校の成績証明書(郵送)、大学の成績証明書(自分で印刷)、クリアファイル(書類を綴じるのに必要)

具体的な申し込み手順を教えてください。

成績証明書や財政証明など、取得に時間のかかるものを用意。写真撮影。DS-2019 に自署。SEVIS に登録。ESTA を申請。web 上で DS-160 を作成。種々の書類を印刷。面接を予約。大使館で面接、パスポートが返送されるのを待つ。

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

「氏名をお願いします」「どの大学に行きますか？」「何を専攻しますか？」

ビザ取得に関して困った点・注意点

とにかく必要な書類が多く、何に付けても時間がかかる。財政証明は親の口座から自分名義のものに金を移す手間がかかる上、書類は支店からの郵送の為思った以上に時間を取られた。高校の成績証明書が必要な場合は二度手間三度手間を避ける為にも多めに用意しておいた方がよい。ビザ申請に関して必要な情報はすべてアメリカ大使館の web サイトで日本語でも公開されており、年度ごとに申請に必要な書類や申請方法、費用が変わることは十分考えられるので、基本的にはそこを参照するべきである。万が一どうしても分からないことが発生した時に大使館に問い合わせ、その返信が来るまでの時間を用意できるように、準備はできるだけ早くから行っておくと良いかもしれない。八月はビザ面接のシーズンであり混み合うので、早めに予約まで終わらせると良い。あまりぎりぎりまで引き延ばしてしまうと、出国予定日に間に合わないかもしれない、と気を揉むことになるだろう。

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

留学先大学の留学アドバイザーなどとは連絡を密に取り、到着後の自分の予定を確認しておくといい。直接会って話せばよいと思うかもしれないが、到着後すぐは大学の地理が分かるはずもなく、そもそも国際事務室がどこにあるのか分からない可能性すらある。大学側から保険・予防接種に関する要綱が送られてきたら目を通しておくべき。おたふくかぜの予防接種など日本では義務ではないものを要求される可能性があり、その場合予防接種を済ませてから出発したい(大学の医療所でもできると言われたが、英語がまだ中途半端にしか分からない状態で注射を受けるのは勇気が要ると思われる)。基本的にアメリカは(クレジット・デビット)カード社会なので、そこまで多額の現金は必要ないが、カード紛失ということもあり得るので、ある程度の現金は持つとよい。私は出国時に空港で両替した。携帯電話は現地でプリペイドのものを買うことができるが、日本で調達できるなら出国前にやっておいた方が手続きの面でも楽だろう。荷物は送ると高かった為、なんとか必要なものは全てスーツケースに収めて持って行った。

Ⅲ. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	デルタ航空				
航空券手配方法	楽天トラベルで購入。 ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	ポートランド空港 ※厳密な最寄はユージーン空港	現地到着時刻	2013年9月17日		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の 出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	成田空港→ポートランド空港(約9時間)→ユージーン市(約3時間)→大学キャンパス(10分前後)				

空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等

ポートランド空港からユージーン市までを結ぶ Hut Shuttle を利用。料金は 55 ドル。他にも多数の公共交通機関があった。バスを降りてからは少々歩くが、街中なので特に心配はない。

大学到着日	9月17日3時頃
-------	----------

2. 住居について

到着後すぐに住居入居 できましたか？	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: 9月18日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他()	
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他()	
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他()	
住居を探した方法	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()	
住居の申込み手順	オンラインで申し込み。Eメールで受け付け開始の通知が来る。	

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

渡航前の段階で部屋は確保してもらえた。特にトラブルらしいトラブルはなかった。

3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	9月18～9月25日
参加必須ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容と様子は？	留学生間での顔合わせイベント、大学構内ツアー、図書館ツアー、履修登録方法の案内など
留学生用 特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	9月30日から

Ⅳ. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

滞在許可とは違うが、外務省に在留届を提出した。9月の下旬ごろにオンラインで記入。料金はなし。

2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

オレゴン大学側が提供する保険に加入した。10月の頭ごろ、Health Center に出向いてフォーマットを記入。特に問題なく加入できた。一週間程度で確認のメールが送られてくる。保険料は1termごとに約400ドル。

3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

Bank of America の口座を開設した。市内にある支店に直接行って手続きをした。必要なものはパスポートと、現在の住所(寮など)。電話番号もあると良い。口座の開設自体は無料だが、最初に入金する為のお金がいくらかは必要になる。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？ トラブルは？

現地では購入していない。

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

- 出発前に(月 日頃)
 オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

- 到着後に(9月25日頃)
 オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることは あった なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

オンライン上のシステムで授業が探せるようになっている。学部別や時間帯などで条件付けて検索することができ、まだ空きのある授業だけを表示することもできる。そこから履修したい授業を選択し、履修を申し込む。ただし空きがあっても prerequisite を満たしていないとこのことで履修がブロックされる授業も存在する。その場合はその授業を担当する教授の元に直接行き、交渉して履修の許可を取り、学部の事務室に行って override 用の書類を記入する。

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？ また希望通りの授業が取れましたか？

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
8:00	睡眠	睡眠	睡眠	起床	起床	睡眠	睡眠
9:00	起床	睡眠	起床	朝食	朝食	睡眠	睡眠
10:00	朝食	睡眠	朝食	自習	授業	睡眠	起床
11:00	授業	起床	授業	自習	授業	起床	朝食
12:00	昼食	朝食兼昼食	昼食	余暇	昼食	朝食兼昼食	余暇
13:00	授業	自習	授業	昼食	余暇	自習	自習
14:00	授業	自習	授業	余暇	余暇	自習	自習
15:00	余暇	余暇	余暇	自習	自習	余暇	昼食
16:00	自習	授業	自習	授業	自習	自習	余暇
17:00	自習	授業	自習	授業	運動	自習	自習
18:00	余暇	自習	夕食	ミーティング	余暇	余暇	自習
19:00	剣道	夕食	余暇	夕食	夕食	夕食	余暇
20:00	剣道	自習	自習	余暇	自習	自習	夕食
21:00	剣道	自習	自習	自習	自習	自習	余暇
22:00	夕食	余暇	余暇	自習	余暇	余暇	余暇
23:00	余暇	余暇	就寝	余暇	余暇	余暇	就寝
24:00	就寝(2時頃)	就寝(1時頃)	睡眠	就寝	就寝(2時頃)	就寝	睡眠

Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

オレゴン大学は西海岸に位置する大きな大学であり、また、多くの留学生を受け入れているので、日本人だからと言ってキャンパス内ないし街中を歩いていて浮くということはない。むしろ交換留学生としては日本人が一番多いくらいである(語学留学も含めると当然中国人が一番多い)。自分はオレゴン大学の経済学部にも所属していることになっているが、特に経済学部設置以外の授業は履修できないということはない。4 学期制を採用しているため 1term での授業は 10 週間分であり、進度は概して早い。その為授業は予復習が推奨される。office hour を利用して積極的に教授に質問しに行くとなお良いだろう。寮に住むのは少数の留学生を除いてはほとんどが domestic の一年生だが、これはこれで楽しく過ごせている。試験期間は quiet hours が設けられ、主に深夜から朝にかけては大音量で音楽を流したりしないようにとアナウンスされる。資料や提出物などを印刷したい時は図書館にあるプリンターを利用するが、料金はあらかじめ add value(電子マネーでいうチャージ)をした ID カードで支払う。寮の地下にある洗濯機も別のカードを用いるが、基本的なシステムは同じである。洗濯は一回で 75 セント、乾燥機は無料となっていた。ルームメイトとは非常に気が合い、トラブルもなく過ごすことが出来ている。学内に dining は何種類もあり、更に subway や panda express などメジャーなファストフードチェーンも出店している。downtown まで出れば他にも食べる場所は多数ある。ユージーン市はバス路線が整備されているので、キャンパス外に遊びに出る時も車がないとどうしようもない、ということにはならない。天候は曇りか小雨の日が多いが、晴れるとなったら快晴になる。アメリカ人は基本的に傘を差さないなので、フード付きの服があればそれで十分だろう。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

何事もまずは自分で積極的に行う癖をつけておく方が良い。勉強にしても生活にしても、他人に頼ることが出来ないわけではないが、頼って当然という態度ではわざわざ留学に行く意味がない。こちらで数か月実際に生活してみて、日本人だけでいつも固まり日本語だけでいつも会話しているグループなどをいくつも見た。確かに同じ日本人の方が話しやすく会話も弾むだろうが、それならば日本国内で十分できることである。現地の学生たちや、日本人以外の留学生と接する機会を無駄にしないほしい。まだ英語がうまく話せないから、うまく聞き取れないからということは、本人が思っている以上には相手は気にしないものだ。面と向かって話すならばジェスチャーを交えたり、いくつも単語を並べて相手に推測してもらったり、いくらでも自分の考えを相手に伝える方法はある。上手に話すことと上手く話せないことにはたいして差はないが、上手く話せないことと全く話そうとしないことには大きな違いがある。TOEFL のスコア獲得から学内選考、それを越えた後も証明書やエッセイなど多数の書類を用意・提出したりとしなければならないことは多いだろうが、そこからもう留学の一環であると考えて自身で能動的・積極的に動いていってほしい。給付型の奨学金も存在するので、金銭的な面で留学を躊躇しているならばまずは一度国際教育事務室に相談してみるといいだろう。